上内ふれあい

まち協
２８号

発行責任者
上内校区
まちづくり協議会
会長
野田 卓朗

編集
上内校区
まちづくり協議会
広報部会
令和７年
２月１４日発行

「新しい気持ちで新年を」

上内校区まちづくり協議会は十二月二十二日、上内小学校で門松づくりを実施した。二十人ほどの運営委員が参加して早朝から作業を行い、上内小学校正門前に左右両方に高さ二メートル五十センチになる大型の門松を二基設置した。翌日の二十三日には児童たち全員が正門前に集い、お礼の言葉が贈られた。

上内小への門松設置は十年以上続いている師走の恒例行事。子どもたちに喜んでもらおうと行われているもの。児童たちのお礼の言葉を受けて、まち協の野田卓朗会長は「新しい気持ちで新年を迎えてほしい」と言葉を掛けていた。





門松を設置したまち協運営委員とお礼を述べる児童たち（上から）

上内小に大型門松２基設置





門松の製作と設置作業

デイキャンプでふれあい

令和六年度上内ふれあいデイキャンプが十一月二十三日、リフレスおおむたでありました。三年生七人、四年生九人、六年生三人の合わせて十九人の児童が参加。地域住民などボランティア十八人と一緒に屋外でカレーライスをつくり、食べたりして楽しんだ。

デイキャンプは上内校区まちづくり協議会、同校区社会福祉協議会、上内小学校父母教師会、上内小学校の主催。上内小児童が異学年児童や地域の人たちとふれあうことで、思いやりの心をもち、互いに仲よくなれるグループ内で助け合いながら、自分にできることを考えて行動できるようにすることを目的としている。

この日はまず、西鉄バスに乗車して上内宮前から大牟田テクノパーク前で行き、ボランティアの先導でバス停からリフレス大牟田まで徒歩で進んだ。リフレスでは研修室で開会式。児童とボランティアがそれぞれ四班に分かれ役割を分担。野外炊飯では近くの花ぷらすでジャガイモや玉ネギを購入してカレーを作った。体育館ではレクリエーションのドッジボールなども行われた。



ボランティアとカレーを作る子どもたち



ドッヂボールを楽しむ子どもたち

上内校区地域の健康づくり

講座と身体測定会

上内校区まちづくり協議会は十月二十七日、上内小学校体育館で令和六年度地域健診推進事業の健康講座と測定会を開きました。この日は衆議院議員選挙の投票日だったこともあり、例年より多くの参加があった。講座を聞き、血圧などの測定を受けたことで、健康への意識をさらに高めた。

上内校区は自然豊かなところで、住環境にも優れている。そのこともあり、高齢化率は市トップクラスと高く、健康に対する関心も高いことから、毎年、開かれる健康講座は多くの人たちが受講している。

まず、いしざき内科・心臓血管クリニックの石崎勇太副院長が「心不全って知っていますか?」―身近に潜む心不全を予防する!―と題して行った。続いて大牟田市健康づくり課職員が「測定結果の見方について」―骨密度、骨粗しょう症等―で説明。測定会は血圧・骨密度・足指力の各測定が行われた。



講演する石崎副院長



測定結果について説明する市職員



骨密度の測定を受ける参加者たち

交通安全教室も

健康講座の後に、同会場で「交通安全教室」があった。大牟田警察署交通課の山内慎也さんが講師となり説明。まず交通事故発生状況から紹介していき、この教室の参加者に高齢者が多いことから、「高齢者のための交通事故のポイント」を説明した。また、運転免許の自主返納についても触れた。



講演する大牟田署の山内さん

御寄付ありがとうございました

【香典返し】

上坂井公民館
境　一弘様
(故)境　国子様

湯谷公民館
森　繁光様
(故)森　康子様

皆様からお寄せいただいた善意は、広く上内校区の社会福祉事業に役立たせていきます。今後につきましても、上内校区社会福祉協議会への御寄付・御協力のほど、よろしくお願いします。

なお、御寄付につきましては、御連絡いただきますとお伺いします。

問い合わせ先
社協会長
古賀　和信
電話
五八―三七五一

児童と地域が交流

ふれあい運動会　上内小

上内小学校の「上内ふれあい運動会」が十月六日、運動場であった。同小は長年、地域と合同で運動会を開催してきた経緯もあり地域住民との一緒の競技種目を取り入れ、「ふれあい」を打ち出している。

種目は全学年参加の綱引きで始まり、一つ目の地域との演技は「ふれあい玉入れ」、それに来学年児の「ゴールめざして」やPTAの「そーっと運んで」などがあり、二つ目の地域との演技の「ふれあい玉送り」と続き、表現演技が行われ、「紅白リレー」で盛り上がり、最後が全児童て「銭太鼓おどりとひゅうたん廻し」で終了。今年は赤八、白十で白組の勝ちだった。



児童たちが力走する紅白リレー



地域との交流演技の玉入れ

グラウンドゴルフを楽しむ

上内校区まちづくり協議会のグラウンドゴルフ大会が上内小学校運動場であった。個人戦が十月二十日、公民館対抗が十一月三日に行われ、個人戦は西山弘昭さん（寺公民館）、公民館対抗は寺公民館が優勝した参加は個人戦が六十人、公民館対抗が十五チーム五十六人でホールインワンは個人戦六人、公民館対抗は五人だった。順位は次のとおり。

【個人戦】①西山弘昭②石橋徹③境一弘④池田正博⑤田中健治⑥境尚⑦武宮幸司⑧野田達行⑨奥園幸子⑩福山和幸▽ホールインワン＝池田正博、西山弘昭、松尾康子、宮原康子、木村珠枝、境一弘

【公民館対抗】①寺公民館②川床公民館③岡公民館④上坂井公民館⑤高田公民館⑥下坂井公民館⑦湯谷公民館⑧南公民館⑨中栗公民館⑩椛公民館▽ホールイン＝池田正博、野田卓朗、西山広昭、西山正昭、堺雄二



プレーを楽しむ参加者たち



個人戦の上位3人



優勝　寺公民館の皆さん

ほっとあんしん　上内校区

グループワークで発表

上内校区のほっとあんしん模擬訓練が十月三十日に上内小学校ふれあいホールで開かれた。認知症についての講義を受け、当事者のインタビュー動画を視聴、六つのグループに分かれ、テーマごとにグループワークをしてそれぞれ発表していった。

模擬訓練にはまちづくり協議会運営委員や民生委員、福祉委員などが参加。まず、まち協の野田卓朗会長があいさつ。認知症についての講義では大牟田市保健福祉部福祉課の職員が「認めよう！」「知ろう！」「症状を理解しよう！」と呼び掛け、前頭側頭型認知症のうち、アルツハイマー型認知症が六割を占めると紹介。認知症の段階をそれぞれ軽度、初期、中期、中期後半、末期と分析。当事者のインタビュー動画は当事者が「どこまでが認知症なのか分からない」とする意見もあった。

グループワークは①動画を見てどう感じ、どう思ったか②あなたが認知症と診断されたらどうしますか③上内校区でできることは何があるか、の三点でグループごとに発表していった。



意見を発表したグループワーク

子ども見守り隊にジャンパー贈る

上内校区まちづくり協議会は十一月二十九日に、四ケ地区の子ども見守り隊に見守り活動で使うジャンパーを七着贈った。野田卓朗会長と会計の境信剛さんがこの日の午前七時半ごろ中尾バス停付近を訪れ、見守り活動を行っていた世話役の桑原清継さんに手渡した。

四ケのバス停は中尾と川床が使われており、この地区には小学生が八人、中学生が五人いて、このほか、テクノパーク勤務の人たちなどが利用。見守り隊は現在は七人で構成、毎日交代で担当している。



ジャンパーの贈呈式

なかよし広場クリスマス会でケーキを作る

上内校区民生児童委員と主任児童委員たちは十二月十四日、上内小学校ふれあいホールで「上内なかよし広場のクリスマス会」を実施。上内小の児童十五人が参加し、四、五人の班に分かれて四つのケーキをつくって切り分け食べて楽しんだ。

主任児童委員二人、民生委員三人と保護者の母親たちも参加。二時間ほどかけてケーキを作った。なかよし広場は年に一、二回開かれ、昨年はフラダンス教室もあった。



ケーキを作った児童たち